

# 農業共済新聞購読のお申込みについて

農業共済新聞は農業専門誌として、「農家に学び、農家に返す」を創刊以来の編集方針として発行しています。NOSAI事業の説明やNOSAI団体の動きはもとより、農政、営農技術や資材活用、暮らし、農産物流通など幅広い分野を網羅した紙面を通じて、農家の営農と暮らしに役立つ情報を提供しています！

## 無料購読キャンペーン

新たに年間購読のお申込みをいただいた方に限り、2か月間無料で購読いただけます！※無料購読期間を終えた後は1年間の有料購読となります。



農業共済新聞  
購読料 (年極)  
5,520円  
(1ヶ月あたり460円)

購読希望の方は、NOSAI 東京042-381-7111までご連絡ください。

農業共済新聞購読希望とお伝えください！(担当者:小山、保坂)

### 農業共済事業の未実施品目に対する意向調査について

NOSAI 東京では実施している農業共済事業以外の品目について、農家組合員の皆様から広く未実施品目について、要望を受け付けております。未実施品目について当組合で実施が必要かどうか常時検討を進めておりますので、農家組合員の皆様の自由なご意見をお聞かせください。詳しくは当組合ホームページをご覧ください。

【NOSAI 東京ホームページ <https://nosai-tokyo.jp/>】



清瀬市 ひまわり

# 広報 NOSAI 東京

NO. 28 東京都農業共済組合 広報誌

### CONTENTS

- ・第31回 令和5年度通常総代会
- ・収入保険制度 東京都の保険料補助事業について
- ・収入保険制度の変更点について
- ・令和4年度 各事業の実績報告
- ・収入保険 加入者の声

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により影響を受けられた方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早くこの事態が収束し、皆様がいつもの日常を送ることができるよう、役職員一同心よりお祈り申し上げます。



# 第31回通常総代会

令和5年6月16日、第31回通常総代会を小金井市の「小金井 宮地楽器ホール」にて開催いたしました。総代32名（書面出席含む）にご出席いただき、議長は世田谷区の飯田勝弘総代にお務めいただきました。提出された5つの議案は、慎重な審議を経て賛成多数により原案通り可決されました。

また総代会には来賓として、東京都農業振興事務所の渡邊俊夫所長、全国農業共済協会の洲濱隆臣総務部長にご臨席いただきました。



## 提出議案

- ・第1号議案 令和5年度補正予算について
- ・第2号議案 令和4年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案について
- ・第3号議案 事業規程の一部改正について（家畜共済・園芸施設共済）
- ・第4号議案 東京都農業共済組合給与規則の一部改正について
- ・第5号議案 損害評価会委員の選任について



飯田 勝弘議長



東京都農業振興事務所 渡邊俊夫所長



全国農業共済協会 総務部 洲濱隆臣部長

## ○東京都の保険料補助事業について

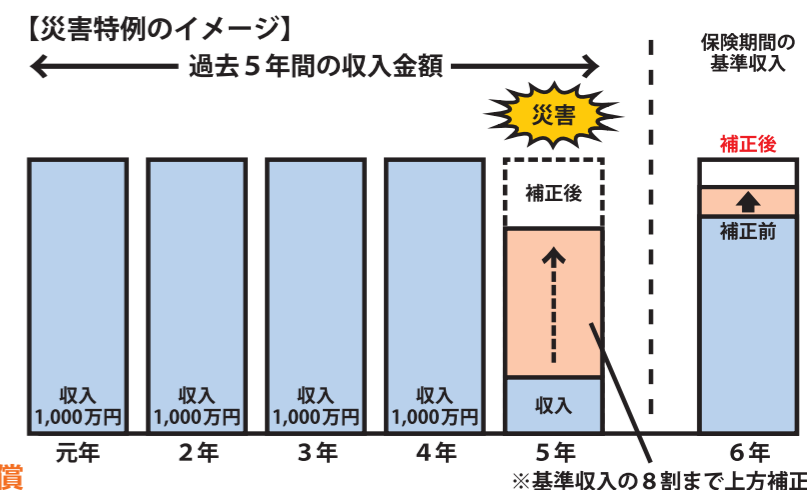
令和3年6月より東京都が実施している農業経営収入保険の加入推進事業（保険料補助事業）について、令和5年度も継続されることが決定しました。本年度も新たに収入保険にご加入いただく方を対象に保険料について、その半額が東京都から助成金として支払われます。詳しい内容はお住いの地域担当職員がご案内いたしますのでお気軽にお問合せください。

東京都農業共済組合 ☎042-381-7111

## ○収入保険制度の変更点について（令和6年1月保険開始分から）

### ① 甚大な気象災害による影響を緩和する特例（気象災害特例）

気象災害で農業収入が下がった場合、これまでは減少した農業収入をそのまま基準収入の算定に用いていました。しかし、今回の改正により、被災した年の農業収入をその年の基準収入の8割まで上方修正して算定できるようになりました。※適用には市町村が交付する被災証明など被災状況を確認できる書類が必要になります。



### ② 保険方式のみで基準収入の9割まで補償

保険料のみで基準収入の9割まで補償を受けられるタイプが導入されます。積立金を併用する補償タイプに比べ掛捨ての保険料は増えますが、保険料の全額が必要経費となるため所得税・法人税が軽減されます。

基準収入100万円 新規加入の場合

	基本タイプ	新タイプ
保険料	8,500円	17,700円
積立金	22,500円	—
計	31,000円	17,700円

### ③ 青色申告1年分のみで加入が可能に

これまで収入保険に加入するには2年以上の青色申告実績が必要でしたが、1年分の青色申告実績で加入できるようになりました。令和5年から青色申告をされる方であれば加入することが出来ます。



## 大きなスイカが採れました！

町田市の田中一郎さんが重さ約15キロ、直径30センチに及ぶ大きなスイカを収穫しました。田中さんはこれまで約20年スイカを栽培していて、7キロ程度まで大きくなったスイカはありましたが15キロまで大きくなったスイカは今年が初めてだったそうです。『スイカにとっての好条件が揃ったのかもしれない』と田中さんにとっても驚きの収穫だったようです。

## 令和4年度 NOSAI東京 各事業の実績

令和4年度、本組合では農業保険事業の普及拡大に努め無保険者を出さない取組を推進しました。

また農業保険事業の加入者に自然災害等に対する共済金や保険金の早期支払いに努め、東京都における農業経営の支援に貢献しました。

### 令和4年度

共済事業の共済金支払実績  
**20,591 千円**

収入保険事業の保険金等支払実績  
**94,052 千円**

## 農作物共済

水稲の加入実績は農家の廃業及び収入保険への移行により、前年度加入戸数より19戸減少し、引受面積は427a減少しました。陸稲においては加入戸数の増減はなく、麦は収入保険への移行推進の結果、令和4年産の加入は無くなりました。

被害状況は、水稲において、いもち病害が1件発生しました。

## 家畜共済

加入実績は、死亡廃用共済の搾乳牛・育成乳牛では1戸減少し37戸、加入頭数では搾乳牛が23頭減少し1,270頭、育成乳牛は31頭減少し741頭となりました。一方、繁殖用雌牛では1戸増加し19戸、加入頭数は13頭増加し134頭となりました。育成・肥育牛等では戸数に増減はなく、加入頭数が21頭増加し924頭となりました。

疾病傷害共済では、乳用牛が2戸減少し38戸、加入頭数が63頭減少し1,388頭となり、肉用牛は戸数に増減なく32戸、加入頭数は1頭増加し359頭となりました。

支払共済金は死亡廃用事故では約1,578万円、疾病傷害事故では約1,942万円となりました。

## 果樹共済

収入保険への移行や廃業等に伴い、果樹共済への加入率は近年大幅に減少しています。前年度比は、収入保険への移行で2戸が減少、加入を停止していた1戸が再加入し、全体としては1戸の減少にとどまり、加入実戸数は10戸となりました。

支払共済金は、5月～8月におけるカメムシの被害により約67万円となりました。

## 園芸施設共済

近年の大規模自然災害により農業者の危機管理意識が高まっていることや東京都の補助事業により設置された施設の新規加入推進を進め、32棟の増加となり全体では4,904棟の加入となりました。共済金額では前年度比を約0.7パーセント上回りました。

また、令和4年度は台風第1号が小笠原村を直撃するなどの被害がありましたが、全体の被害棟数は239棟、支払共済金は約2,059万円となりました。

## 建物共済

平成30年度以降続いていた火災共済から総合共済への切替傾向が鈍化しています。総合共済加入棟は、958棟と前年度対比で100.4%、共済金額は127億円、前年度対比99.6%となりました。火災共済と合わせた共済金額は約334億円となり、前年度対比96.8%と減少しました。

支払共済金は、大きな災害の影響を受けなかったことから約284万円に留まり、前年度対比で18.9%と大幅に減少しました。支払共済金の事故内訳は、給排水設備からの水濡れ被害が全体の50%を占め、風水害による被害が20%と続きました。

## 農機具共済

農機具共済の加入台数は305台と前年度対比106.6%、共済金額で約4億7630万円と前年度対比105.2%といずれも前年度実績を上回りました。地域班体制を活かした戸別推進及び東京都の補助事業により導入された農機具の加入が加入台数の増加を後押ししました。

支払共済金は約210万円で前年度対比545%と増加しました。支払共済金の事故内訳は、落雷による被害が全体の50%を占め、続いて転落等が30%と続きました。

## 収入保険

加入目標を500経営体とし、40回の制度説明会と1,945名の戸別訪問を行いました。結果として403名（前年度対比116.8%）の個人経営体、13件（前年度対比130%）の法人経営体の加入となりました。

保険金支払実績は加入する355経営体のうち50経営体に対して約9,405万円の保険金等を支払いました。保険金が支払われるまでのつなぎ融資は3件の申請があり、対応を行いました。

事業実績の詳細は当組合ホームページに掲載しています  
NOSAI 東京ホームページ <https://nosai-tokyo.jp/>





## 農業経営収入保険に加入された 方々の声をご紹介します！

### ○収入保険の魅力は安心感！



東京都練馬区 田中 聖晃さん  
野菜（大根、枝豆等）果樹（葡萄（高尾））

東京都野菜生産団体連絡協議会で役員を務めていた際にNOSAI東京の職員から説明を受けたことが収入保険を知ったきっかけです。

雹の被害で葡萄の収穫が出来なかった年があり、猛暑や激甚化する気象災害等に備える必要性を強く感じたことが加入の決め手となりました。

また、加入後の令和4年に新型コロナウイルスに感染してしまい、肥培管理が出来ず収入が減少してしまった際に補償を受けられたことは心強く感じました。

現在は、家族2人で営農していますが、今後は人を雇うことを視野に入れて、生産により一層力を入れていきたいです。



### ○毎日新鮮な驚きのある農園に！



東京都三鷹市 海老沢 一晃さん  
花卉（花壇用苗物）

花壇用苗の生産は、天候や気温、作業のタイミングなどで毎年育ち方が変わるので繊細な管理を必要とします。

変化を楽しんでもらえるように毎年新品種や新色の花を積極的に導入していますが、成功するかはやってみないと分からないことが多く、万が一の際に補償があることは安心感につながったことが収入保険加入の決め手になりました。

自然災害だけでなく、市場価格の低下や自分や家族の病気が原因で収入が減少した場合も補償対象となっていることも魅力に感じました。

今後もお客様に新鮮な驚きを与えられる農園を目指して新しいことにどんどん挑戦していきたいです。



### ○明日葉とレモンの二刀流！



東京都三宅村 三輪 孝則さん  
野菜（明日葉等）果樹（マイヤーレモン）

NOSAI東京の職員から説明を受けて、収入保険は農業者のための助け合いであると感じました。

激甚災害でなくても、自身の収入を基準として収入が不可抗力で減少してしまった際には加入者同士の助け合いで補償が受けられるのは魅力であるし連帯感を感じます。

積立金や保険料を農林水産省が補助していて、更には東京都まで保険料を補助していたことも加入を決める後押しとなりました。

今後は体力も落ちてくるかもしれませんが、明日葉とレモンの二刀流で頑張りたいです。



### ○東京都産の野菜を多くの方に届けたい！



東京都西多摩郡瑞穂町 近藤 剛さん  
野菜（小松菜、サツマイモ、長ネギ等）

農園は現在約6ヘクタールで野菜を中心に生産しており、継続的に規模を拡大しています。

それに伴い、雇用も増やしているので、減収してしまったとしても責任を持って給与を支払うための備えとして収入保険に加入しました。

保険料の試算をしてもらい、負担となるのは年間の平均販売金額の1%程度で思ったよりも安かったことや保険金を受け取らなければその分保険料が安くなっていく仕組みも加入の後押しとなりました。

今後も規模拡大を進めて、多くの方に東京都産の野菜を食べていただきたいと思っています。

